

核兵器禁止の声を日本から世界へ

2020年・被爆75年へ「ヒバクシャ国際署名」をさらに

世界中の「核兵器なくせ」の 声と行動をニューヨークへ

2020年は、被爆75年の節目の年です。世界の191か国が参加する核不拡散条約（NPT）再検討会議が開かれ、核兵器禁止条約の発効も注目されます。

米欧の反核平和団体は、これにあわせ、核戦争阻止、核兵器禁止・廃絶、被爆者援護・連帯の目標で「原水爆禁止世界大会—ニューヨーク」開催を提案しています。

被爆国の草の根から、核兵器禁止を求める声を世界に響かせるときです。ぜひ、被爆者がよびかけた「ヒバクシャ国際署名」にご協力ください。

(2019・6・6)



臨界前核実験に NO

今年2月13日、アメリカは、トランプ政権2度目となる臨界前核実験をおこないました。実験は、核軍拡競争を助長し、断じて許されません。

アメリカは、北朝鮮やイランに対し核の放棄を求めています。しかし、世界の核兵器の大部分は米口が持っています。核大国もまた、核兵器廃絶の約束をきちんと果たすべきです。

日本政府は、アメリカの臨界前核実験に一度も抗議したことがありません。被爆国としてあるまじき態度です。非核平和、憲法をいかす平和外交の転換へ声を上げましょう。

「ヒバクシャ国際署名」は QR コードから
オンラインでお願いします！



国連認証 NGO・原水爆禁止日本協議会(日本原水協)

Tel:03-5842-6031 HP:<http://www.antiatom.org/>